



佐藤国際ロータリー理事と地域公共イメージコーディネーターを務める3人の元ガバナー。  
左から井原賢氏(埼玉)、服部陽子氏(東京)、佐藤理事、丸尾研一氏(兵庫)

毎年10月24日は国際ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶を訴える「世界ポリオデー」ですが、これに合わせ今年度は日本各地のロータリークラブに行動を起こす呼びかけを積極的に、日本の津々浦々で「日本ポリオデー」を開催、地域性や独自性にあふれた取り組みが多数実施される予定です。サイクリングで日本縦断をするプロジェクト、バスや車をポリオ根絶を訴える装飾でラッピングしてアピールするプロジェクトなどが、2630地区では、岐阜市、津市でバス運行会社に協力を求めて、ラッピングしたバスを走らせています。また四国では、弘法大師ゆかりの霊場をめぐる「四国遍路」の88カ所の札所において、近隣のロータリークラブがポリオ根絶祈願と同時に、境内の清掃

活動などを行う「四国88カ所ポリオ根絶祈願」を計画、横浜・川崎の2590地区は「JR桜木町駅前広場でポリオ根絶イベントを開催するなど、全国各地のロータリークラブがそれぞれに趣向を凝らしています。

—— 今後の抱負を聞かせてください。

日本ポリオデーへの参加、実践を起爆剤にして、日本のロータリー活動の一層の活性化を図りたいと思います。若い世代の集まるロータリーアクトクラブと連携した奉仕活動も積極的に行い、女性や若者をはじめ、より多くの人にロータリーの精神に共鳴してもらい、一緒に活動していける環境を整えて、参加者の基盤を広げていきたいと考えています。

## 国際ロータリーのロータリー財団

一緒に変えていきませんか、未来を、世界を、あなた自身を！

ロータリー財団は1917年に「世界でよいことをする」という思いから設立されました。

それから一世紀余、世界は大きく変わりました。わたしたちは、設立当時からその思いを変えることなく、日々活動しています。

あなたのご支援を  
お願いいたします！



パキスタンの全国予防接種日にワクチン投与をするロータリー会員。パキスタンでは、ポリオ根絶のために全国予防接種日を設けています。目的は、個々の子どもを保護し、野生型ポリオウイルスの伝播を許さない高い集団免疫を構築および維持することにより、すべての子どもをポリオから守ることです。

国際ロータリーの財団である「ロータリー財団」では、7つの重点分野に関連する、人道的奉仕プロジェクト、職業研修チームの派遣、奨学金、災害復興支援など世界各地で様々な活動に取り組んでいます。ロータリー財団の強みは、思

いを同じくする支援者やロータリー会員から寄せられた寄付を、会員自らが活用し、地域社会の問題に取り組み、地元の人たちとともに変化をもたらすボランティアとして活動を牽引していることです。

ロータリー財団は、米国の非営利団体を格付けする独立機関であるチャリティ・ナビゲーターからも14年連続で最高評価を受けています。

ロータリーは30年以上、世界的なポリオ根絶活動の先頭に立ち、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体とともに活動してきました。現在、ポリオの発生率は99.9%減少しており、残り0.1%のポリオ根絶に向け引き続き活動をしています。これまでポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて築かれた大規模なインフラが、新型コロナウイルス(COVID-19)への対応でも活用されました。



平和構築と紛争予防



疾病予防と治療



水と衛生



母子の健康



基本的教育と識字率向上



地域社会の経済発展



環境

広告

企画・制作=日本経済新聞社 Nブランドスタジオ

<https://www.rotary.org/ja>

Rotary  
Zone1A,2&3

